



小原 廣記さん(64歳)

西根針山在住

金ヶ崎町消防団団長。昭和55年4月に町消防団入団。部長、分団長、本団分団長、本部長、副団長を歴任し、今年4月より消防団長に就任。妻と娘と3人暮らし。

災害を最小限に防ぐのが使命 地域の安心安全のために全力尽くす



消防団長の半てんに身を包む廣記さん

4月から町の消防団長を務める廣記さん。地域に貢献したい、地域の事を知りたいという思いから消防団に入団。最初の火災は今でも忘れられないという。その場の判断が求められ、さまざまな対応が必要とされることから消防団の必要性を実感。入団してから現在までいつも現場での対応を振り返り「自分がとった行動が正しかったのか」と自問自答を繰り返して、災害現場での行動力につなげている。

消防団の活動の中でコミュニケーションを大事にしており、町内だけではなく全国の団員とも関わりを持ち、多方面から情報を取り入れ団の活動に役立っている。しかし、地域とのかかわりが少なく団員の活動が理解されていない面もあるので「これからは団員と地域のコミュニケーションを図っていき、身近で活動する姿を印象付け防災へとつなげていきたい」と思いを語る。また、団員同士の交流も深め、若い世代の意見を聞きながら団の活動がより良くなるよう努力を惜しまないと熱い思いをのぞかせた。

新消防団長として「消防団は災害を最小限に防ぐことが使命。地域防災のありかたも時代とともに変わってきていることからニーズに合わせた活動を行っていききたい。また、地域の方にも消防団の活動を知ってもらい防災意識を高めるための広報活動と若い世代の育成に力を入れていきたい」と思いを込めていた。

広報日記



人事異動により4月から広報担当となりました。

広報担当となり5日目、初めて握る一眼レフに緊張しながら母校の入学式へ表紙の撮影へ伺いました。最近のカメラは性能がよくシャッターを切れば素人でも上手な写真がとれるから大丈夫と言いつつも聞かせいざ撮影へ。緊張しながらもとても元気に入場する新入生に対して、動く被写体に焦る私…。カメラがすぐく難しいものでした。

今は日々勉強の毎日を送っておりますが、皆さんに親しみやすい広報を目指して頑張ります。これからどうぞよろしく願います。(阿部)

金ヶ崎町の 花鳥木



町の花
「さつき」



町の鳥
「やまどり」



町の木
「すぎ」

